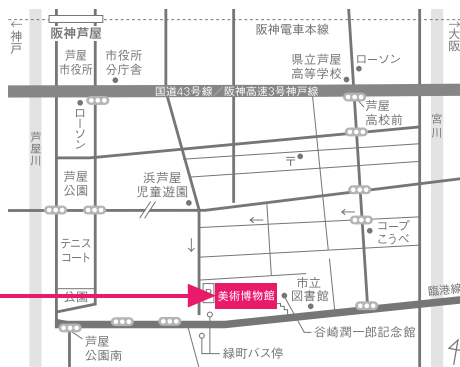


芦屋の時間

ASHIYA TIME: A LARGE COLLECTION EXHIBITION

大コレクション展



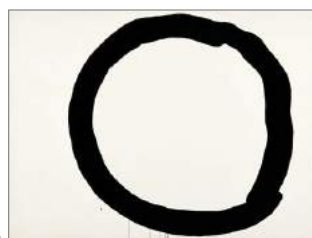
芦屋市立美術博物館、

どこにあるか、ご存知ですか？ ここです。

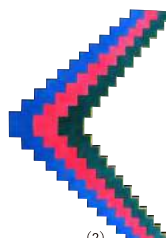
駅からわりと遠い、そんな印象をもたれるかもしれませんが、でも、芦屋川に沿って進む美術博物館への道のりは、とても気持ちがいいんです。ひとりで気楽に時間を過ごす、お散歩のような楽しさがあります。

今から100年ちょっと昔には、このへんのどこかを、小出櫓重も歩いていたでしょう。今から70年くらい前に結成されたアーティスト集団「具体美術協会」(具体)、その中心メンバー吉原治良の家も、この近くにありました。芦屋公園では、「具体」の野外展覧会も開かれていました。小出櫓重、吉原治良以外にも、多くのアーティスト達がこの地に暮らし、語り、作品をつくっていました。時間が少し違うだけ、ほとんど同じ地域で、自由に斬新な表現を、アーティスト達は、追求していたんです。

今からちょうど30年前、芦屋市立美術博物館ができました。30年という時間をかけて、地域も超えて、たくさんの作品が集まってくれました。そして、今、唯一無二のユニークなコレクションを形づくっています。当館のコレクションを支える作家は、126名にも及びます。



(1)



(2)



(3)



(4)

「芦屋の時間 大コレクション展」では、開館からの歴史で初めて、すべての作家が登場します。できるだけたくさん、作品を並べます。「お、こんな作品があったのか」というような、初めての出会いもあるでしょう。また、「いつも見てる」とか「もう見飽きた」と思った作品が、あらふしぎ、いつもと違ったように見えてくるかもしれません。多くの作品と出会うことで、いつもと違う、作品の表情が見つかると思います。

これが限界、もうムリ、というくらい、たくさん展示しますが、そんなことをするのは、初めてのことです。なんでそんなこと、したいんでしょう。

「作品なんて、いつでも見られるじゃないか」という考えに抗いたいからです。確かに、すべてこの館に収蔵されているんですから、収蔵庫から出してくれば見られます。また、今後も、同じ作品を見る機会はあると思います。いつでも見られる、という言い方は、ある意味で、その通りなんでしょう。



(9)

でも、「いつでも見られる」にしても、「もう二度とない」だろうこのような展覧会に並ぶと、それは「今しか見られない」表情を持つんじゃないでしょうか。孤高の、とっつきにくいと思ってた作品が、このにぎやかな展覧会の中で見ると、案外、優しい、親しげな側面があることに気づくというようなことが、あるんじゃないでしょうか。あるいは、たくさんの作品の中で、ふと、「何度も見てきたけど、お前さん、意外と小さいんだな」と、そんなふうに、作品に語りかけられるような、親しげな気持ちに自分自身になるんじゃないでしょうか。

収蔵作品は、新作だった時代の、イケイケだったその時の文脈から断ち切れて、収蔵庫の中で、大事な部分だけを残し、むしろ作品として研ぎ澄まされて、今、生きている私たちに見られるのを待っています。新作だった時には見つからなかった「新しさ」を見つけてくれるのを、作品たちは、今か今かと、待っています。

だから、これまで何度でも来たよ、という常連さんも、初めて行くねというかたも、大歓迎の展覧会なんです。時間をかけて見てもいいし、全体を、ざっと眺めるだけでも、面白いかもしれません。

いずれにせよ、にぎやかで、楽しい展覧会です。散歩にもぴったりな季節、ぜひ遊びにいらしてくださいね(ひとりで見に来てても、さみしい気持ちになりません)。



(10)

会期中 | こんなことやります！

その1 毎日2回、展示作品の解説をツイートします。作品の画像や映像をまじえながら、臨場感あふれるツイートを目指します。

*少人数での作業になりますので、遅れることがあるかもしれませんが、できるだけがんばります。

→芦屋市立美術博物館 twitter



その2 各作家のキャプション解説の「揭示替え」を行います。前期は9月19日[土]から10月11日[日]まで、後期は10月13日[火]から11月8日[日]までです。*作品の展示替えではありません。同じ作家、作品の、違った見方、感じ方の一助になればうれしいです。

これからの展覧会

*詳しくは芦屋市立美術博物館ホームページをご覧ください。

美術と音楽の9日間「rooms」

2020年11月14日[土]ー23日[月・祝]

迷路絵本 香川元太郎の世界展

2020年12月5日[土]ー2021年2月7日[日]

全収蔵作家が、「見たかった!」と羨む展覧会